



多摩川の鳥の変

2026.1.24土～3.8日

9:00～17:00(入場は16:00まで)



会 場 本館1階 特別展示室

観 覧 料 博物館入場料でご覧いただけます(大人300円
中学生以下150円)4歳未満無料

休 館 日 1/26(月)

主 催 府中市郷土の森博物館運営グループ(公益財団
法人府中文化振興財団・株式会社五藤光学研究所)

府中市郷土の森博物館

〒183-0026 東京都府中市南町6-32

TEL: 042-368-7921 FAX: 042-360-8217

<https://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/>



ご来場の際は、電車・バスをご利用ください。

京王線・JR南武線「分倍河原駅」南側駅前ロータリーから「郷土の森総合体育館」行きバス約6分
「郷土の森正門前」下車すぐ

多摩川 冬鳥の巣

2026.1.24㈯～3.8㈰

我らカモの軍勢は、毎年この多摩川を訪れて一冬を越すのがお決まりなのが…。何でも2019年に襲来した台風で多摩川は大水を出したと聞く。ここ5・6年、来る度に川の様相が変わっていたのは、安全対策のための工事が続いたゆえだったのだな。かつて我らが集った大丸の堰も取り払われてしまったようだが、本展では同じ場所をカモの軍勢が賑わしていた頃の様子がジオラマで再現されておるらしいぞ。懐かしいのぉ。

府中の南縁に沿う多摩川は、鳥たちの楽園です。幅広く緩やかな流れの本流はもちろん、河原の草原や土手の木も最適な活動の場となっています。多摩川は、ここ数年の大規模な河川改修工事により大きく変化しました。以前とは様相のちがう水辺の環境は、飛来する鳥たちに影響をもたらしているのでしょうか？

本展でズラリと並ぶ野鳥標本が、多摩川に集う冬鳥事情の「今」を伝えます。

かつての堰は
カモワールド



我ら一年中多摩川を根城にしている者には、工事はうとうしかった。おかげで本流の道筋は変わってしまったものの、水場に困ることもなかったわけだが…。



我こそは今や多摩川を制圧する者なり。とは言え、工事中はブルやクレーンに悩まされ、いつもの居場所で羽を乾かせなくなってしまった。



展示の鳥たちが、それぞれの思いを語る…

我ら市街地と多摩川を行き来する者にも、幾分落ち着かない日々ではあったが…。案ずるなれば、河原の草地や木が根こそぎ無くなつたわけではないからな。



カモ将軍たちと同じく、我らも北から渡って来る同士だ。川の宿が改装中なればと、林の宿に身を寄せてはみたものの…やはり、川に足が向いてしまうのは人情、いや鳥情であろう。



府中市郷土の森博物館

〒183-0026 東京都府中市南町6-32 TEL: 042-368-7921 FAX: 042-360-8217
<https://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/>

【交通アクセス】

路線バス 京王線・JR南武線「分倍河原駅」南側駅前ロータリーから「郷土の森総合体育館」行きバス約6分 「郷土の森正門前」下車すぐ

府中コミュニティバス(ちゅうバス)

●京王線・JR南武線「分倍河原駅」または京王線「府中駅」から南町・四谷循環バス「よつや苑西」行き 「南町二丁目」下車徒歩約6分
●京王線「中河原駅」から南町・四谷循環バス「府中駅」行き「芝間稻荷神社」下車徒歩約6分

徒歩 京王線・JR南武線「分倍河原駅」、JR武蔵野線・南武線「府中本町駅」、
西武多摩川線「是政駅」より約20分

